

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	まちづくりマーケティング (Study of Town Management)		
ナンバリングコード	E21402	大分類 / 難易度 科目分野	経営経済学科 専門科目 / 標準レベル 地域マネジメント
単位数	2	配当学年 / 開講期	2年 / 後期
必修・選択区分	コース必修: 地域マネジメントコース 選択: Bソリューションコース、会計ファイナンスコース、スポーツビジネスコース、こども・福祉コース コース選択必修: 情報メディア学科 情報コミュニケーションコース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	E046251	クラス名	-
担当教員名	今西 衛		
履修上の注意、履修条件	地域マネジメントコースの学生は必修科目になっています。 この講義は、知識の習得ではなく、課題に対して創造的な発想による解決策を考えます。学ぶのではなく、解決するという姿勢で臨み、固定観念にとらわれず、自由な発想で参加してください。講義ノートは事前に配布するので、予習復習を行って下さい。レポートは採点后返却します。		
教科書	教科書はありません。必要に応じて参考図書、資料を提示します。 講義資料、レポートなどは、ウェブ上で公開しています。 https://www.nbu.ac.jp/~imanishimm/ 「今西 NBU」で検索して下さい。		
参考文献及び指定図書	榎並 利博「地域イノベーション成功の本質」、第一法規、2013 寺谷 篤志 ほか「地方創生」から「地域経営へ」、仕事と暮らしの研究所、2015 他 備考欄参照		
関連科目	地域マネジメントコース必修科目、演習科目、統計に関する科目、プログラミングに関する科目、観光に関する科目、地域経営に関する科目、詳細は備考欄を参照してください。		

○基本情報			
授業の目的	本講義では、社会調査法の内容をベースとして、地域の課題を客観的に発見し、持続可能なまちづくり(SDGs)、定量データ、定性データを分析できる能力、および、事業を客観的に評価する能力(データサイエンス)を習得することです。これは、カリキュラム・ポリシーにある「世の中の変化」を社会調査法を通して、理論と実践を効果的に組み合わせるカリキュラムの一つです。 本科目は、身近な地域での問題から、まだ見ぬ解決方法を解決す方策を学びます。シナリオ作成から分析手法までをイメージした調査の基礎を学ぶとともに、まちづくりマーケティングのモデル構築を紹介します。さらに、これらからの時代、AIにできない、創造力、マネジメント能力を身につけてもらいます。		
授業の概要	本科目では、これまで地域で行われてきた実際の施策をもとに、地域で行うまちづくりや観光都市・エリアとしての観光まちづくりにどのような観点が必要で、どのような施策が効果的かを専門家を交えて議論します。そこで得られた知見を、来年度のまちづくりマーケティング演習を通じて実践していくことを目指します。		
授業の運営方法	(1) 授業の形式	「講義形式」	
	(2) 複数担当の場合の方式	「該当しない」	
	(3) アクティブ・ラーニング	「該当なし」	
地域志向科目	カテゴリー III: 地域における課題解決に必要な知識を修得する科目		
実務経験のある教員による授業科目	該当しない		

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	まちで起きている出来事を理解し、客観的に理解する力を身につけてもらいます。	10点	5点	5点
【知識・理解】	まちの活性化に必要なこと、マーケティングの知識を身につけてもらいます。	10点	15点	5点
【技能・表現・コミュニケーション】	調査を行える技能、レポート、プレゼンテーションの表現力を身につけてもらいます。	10点	5点	5点
【思考・判断・創造】	まちの活性化というプロでも難しい課題を、どのような切り口で考え、まちを運営するという視点からの政策提言などを身につけてもらいます。	10点	15点	5点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
毎回の講義で課題が課されます。したがって、毎回出席していないと、課題も提出できませんので注意してください。 Sレベル: 積極的に参加し、イノベーションとなる解決策と、それを根拠づける説明がなされている。 Aレベル: 課題の解決のためそれを根拠づける説明がなされている。 Bレベル: 課題の解決手段はあるが、それを根拠づける説明が少ない。 Cレベル: 課題解決の提案がない 講義形式ではあるが、都度、習得に必要な質問したか、講義時間外に習得のための努力をしているかなど合計20点満点で評価する。 課題は採点后返却すると同時に、集計ベースで講義の中で解説します。課題の内容を再確認して、学習成果を上げて下さい。	

○その他	
参考図書 橋本 行史 編著、(2015)、『地方創生の理論と実践 -地域活性化システム論-』、創生社、ISBN-13: 978-4794431585 デービット・アトキンソン、(2014)、『イギリス人アナリスト国宝を守る』、講談社+α新書、ISBN-13: 978-4062728706 川原靖弘、斎藤参郎編著(2017)、『ソーシャルシティ』、放送大学教育振興会、ISBN-13:978-4595317187 大正大学地域構想研究所/日本青年会議所「地域再興会議」編著、(2018)、『別冊地域人 地方創生に役立つ!「地域データ分析」の教科書(地域創生のための総合情報)』、大正大学出版会 ISBN-13:978-4924297982 SAS Institute Japan株式会社、(2019)、『AI実用化のための実践ガイド~SAS Viyaではじめるアナリティクス・ライフサイクル入門~』、リックテレコム、ISBN-13:978-4865941821 Saburo Saito, Kosuke Yamashiro eds., (2019)、Advances in Kaiyu Studies: From Shop-Around Movements Through Behavioral Marketing to Town Equity Research (New Frontiers in Regional Science: Asian Perspectives)、Springer、ISBN-13: 978-9811317385 倉田博史、(2017)、『大学4年間の統計学が10時間でざっと学べる』、KADOKAWA、ISBN-13: 978-4046020000	
関連科目 地域マネジメントコース必修科目: まちづくりマーケティング、地域ブランド論、地域イノベーション論、 演習科目: フィールド・スタディIA、IB、II、III、まちづくりマーケティング演習、フィールド調査 講義科目: 地域経営論、観光学入門、観光ビジネス論、データ解析A、経済統計A、B、システム分析論、プログラミング入門、プログラミング言語	
授業計画 講義内容については、レポートの採点結果、習熟度に応じて内容を変更する場合があります。	

2023年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画	科目名 担当教員	まちづくりマーケティング (Study of Town Management) 今西 衛	授業コード	E046251
学修内容				
1. まちづくりマーケティングとは まちに経営の概念がないです。経営学をまちづくりに応用するとどうなるのか？その導入部分について考えます。				
予習	1週間前までに配付資料をWebで公開するので、事前に読んでおいてください。			約2時間
復習	まちづくりにマーケティングを取り入れるとはどのようなことか考えよう			約2時間
2. まちづくりとは まちづくりには、道路を作るといったハード面とイベントを行うソフト面の二つがあります。ここでは、まちづくりの考え方について学びます。				
予習	1週間前までに配付資料をWebで公開するので、事前に読んでおいてください。			約2時間
復習	ハード面とソフト面の違いについて理解してください。			約2時間
3. まちづくりのモデル化 まちを客観的に捉えるために、モデルを組み立てる必要があります。ハフモデルの改良版である、修正ハフモデルを用いて、まちづくりのモデルの設計について簡単に解説します。				
予習	1週間前までに配付資料をWebで公開するので、事前に読んでおいてください。			約2時間
復習	修正ハフモデルとは何か、計算式などを理解しておいてください。			約2時間
4. まちづくりメカニズム(1) 商業施設が新しくできたらどうなるか 修正ハフモデルを用いて、商業施設が新しくできたときの経済効果について学びます。				
予習	1週間前までに配付資料をWebで公開するので、事前に読んでおいてください。			約2時間
復習	講義例を実際に計算してみてください。			約2時間
5. まちづくりメカニズム(2) 既存店舗が増床したらどうなるか 修正ハフモデルを用いて、既存店舗が増床したときの経済効果について学びます。				
予習	1週間前までに配付資料をWebで公開するので、事前に読んでおいてください。			約2時間
復習	講義例を実際に計算してみてください。			約2時間
6. ハフモデルの課題 修正ハフモデルには、様々な課題があります。どのような課題があるか考えてください。				
予習	講義の内容を踏まえて、あらかじめ、どのような課題があるのか考えてください。			約2時間
復習	今回の講義を聴いた上で、あらためて、どのような課題があるのか考え、予習の時と比較してください。			約2時間
7. いま、まちに必要とされているものは何か 最新の調査結果を踏まえ、いままちにながが必要とされているのか議論します。積極的に意見交換してください。				
予習	事前に、まちに何が必要か列挙してください。			約2時間
復習	意見交換で自分の意見がどのように変化したか考えてください			約2時間
8. 集団の意思決定(1) まちづくりには、多くの関係者が関わります。しかし、話がまとまらないケースが多いです。このようなことを理論的な部分から検証します。				
予習	1週間前までに配付資料をWebで公開するので、事前に読んでおいてください。			約2時間
復習	合理的な消費者とはどんな消費者なのか？考えてみてください。			約2時間

○授業計画	科目名 担当教員	まちづくりマーケティング (Study of Town Management) 今西 衛	授業コード	E046251
学修内容				
9. 集団の意思決定(2) 社会の意思決定の一つに投票の多数決があります。多数決がどのような効果をもたらすのか議論します。				
予習	1週間前までに配付資料をWebで公開するので、事前に読んでおいてください。			約2時間
復習	まちづくりにおいて多数決を行うと不都合な場合が生じるか考えてみよう。			約2時間
10. イベントで人をどのくらい呼び込めるか？ 地域活性化政策の一つに、イベントがある。しかし、本講義では、イベントは推奨していない。その根拠について、経済効果を交えて紹介する。なお、受講生は講義の内容をそのまま信じるのではなく、自分の考えを持って講義に臨んでください。				
予習	1週間前までに配付資料をWebで公開するので、事前に読んでおいてください。			約2時間
復習	受講した上で、まちづくりにイベントは有効かどうか検討してみてください。			約2時間
11. 資金調達の仕組み 少子高齢社会の我が国において、地域活性化の資金は限られている。資金を調達する仕組みとしてどのようなものがあるのか、海外の事例を交えて紹介する。				
予習	1週間前までに配付資料をWebで公開するので、事前に読んでおいてください。			約2時間
復習	紹介したそれぞれの資金調達の長所と短所をまとめてください。			約2時間
12. 魅力の発見 地域に住んでいる人ほど、地域の魅力に気付いていないことがあります。みなさんも、自己PRを作成するときに、友人に長所を聞くことがあると思います。まちも同じことが言えます。皆さんの視点でまちの魅力を探してください。				
予習	エリアを設定して、地域の魅力を探してください。			約2時間
復習	地域の魅力を他の人に伝えるにはどうしたらよいか考えてみてください。			約2時間
13. データの読み方 PDCAサイクルのチェック 第10回で、イベントの講義を行いました。イベントの効果検証では、何人訪れた、経済効果はいくらだったということは推計できます。しかし、仮説(Act)がないため、同じ内容のイベントを毎年実施していることもあります。PDCAをきちんと動かすにはどうしたらよいか、ある来場者データを用いて学びます。				
予習	1週間前までに配付資料をWebで公開するので、事前に読んでおいてください。			約2時間
復習	イベントでPDCAが動かない理由を考えてみよう			約2時間
14. 人数計測の方法 まちづくりのPDCAサイクルの一つにチェック機能があり、政策をチェックする指標に人数計測がある。人数計測の方法を最新の研究とともに学びます。最新の研究データを用いますので、事前の資料配付はありません。				
予習	人数計測にどのような方法があるのか調べておいてください。			約2時間
復習	ニュースで出てくる来場者数は正確なのか考えてみましょう。			約2時間
15. 商業施設出店、閉店がまちにもたらす影響 商業施設が出店したり閉店したりすることで、まちの雰囲気も変わります。第4-6回の講義を踏まえ、事例を交えて議論します。				
予習	1週間前までに配付資料をWebで公開するので、事前に読んでおいてください。			約2時間
復習	最近の動きをまちづくりマーケティングの観点から考察してみよう。			約2時間
16. 定期試験 これまでの内容について、記述式の試験を実施します。詳細は、掲示します。				
予習				
復習				